

## 令和6年第3回定例会委員意見概要及び提言の方向性について

前回（10月2日）の特別委員会において、重点調査項目に関して出された各委員の意見概要は以下のとおりであり、これらの意見を総合し、委員会としての提言の方向性をまとめた。

### 重点調査項目1 シティプロモーションの推進について (1) 多様な主体によるシティプロモーションの展開について

意見概要		提言の方向性	
①	効果的なシティプロモーションの展開には、SDGsプラットフォームを活用した多様な主体との連携が重要である。(横川委員・大野委員)	1	<b>【多様な主体との連携】</b> シティプロモーションの推進には、SDGsプラットフォームを活用した多様な主体との連携と役割の明確化が重要である。また、高齢者や高校生を対象とした取組の実施に加えて、小中学校を情報の発信拠点にするなど、組織横断的に地域密着型の取組を展開する必要がある。そのためには、区民参画の手法を取り入れることで、多様な主体がつながる機会の創出を図るべきである。
②	高齢者や高校生に向けたシティプロモーションに予算措置を行うべき。(間中委員)		
③	シティプロモーションの展開においては、組織横断的な取組の推進を図るとともに、小中学校を情報の発信拠点とすべき。(横川委員)		
④	シティプロモーションの成功には、行政・民間・大学などの多様な主体の役割を踏まえるとともに、協同しながら、区民参画の手法を取り入れた地域密着型の取組を展開し、日常生活に浸透させることが重要である。(いしだ委員・坂田委員)		
⑤	シティプロモーションの展開においては、福祉施設等と積極的に連携し、多様な主体がつながる機会を創出すべきである。(坂田委員)		
⑥	シティプロモーションの展開においては、交流人口増加の観点から、各施設が持つポテンシャルを踏まえた施策の見直しが重要である。(間中委員)	2	<b>【多角的要素に基づいた施策の展開】</b> シティプロモーションの展開には、区施設が持つポテンシャルを把握した上で、区外に対する戦略を明確に定める必要がある。そのためには、友好交流都市の積極的な活用に合わせて、多角的視点による議論に基づいた計画の策定と交流人口増加の観点から課題に対する評価分析を行うなど、施策の見直しを行うべきである。
⑦	板橋ブランドの展開においては、区外に対する戦略を明確に定め、多様な主体をセグメントした上でシティプロモーションと結び付ける必要がある。(寺田委員)		
⑧	シティプロモーション戦略には、友好交流都市を積極的に活用した取組が重要である。(しば委員・おなだか委員)		
⑨	シティプロモーションの展開においては、多角的視点による議論に基づいた計画を策定し、課題に対する評価と分析を行うべき。(いしだ委員・坂田委員)		
⑩	スポーツ大使の積極的活用や練習場提供等の支援の拡充など、スポーツの板橋を軸としたシティプロモーションが有効である。(近藤委員)	3	<b>【スポーツ大使及び観光大使の積極的活用】</b> シティプロモーションの効果的な展開には、スポーツ大使及び観光大使を積極的に活用することが求められている。そのためには、平時からの情報発信に加え、両大使が持つホームページやSNS等の多様な媒体を通じた広報戦略が重要である。特にスポーツ大使に対しては、練習場提供等の支援の拡充に合わせて、区と関わりを持つきっかけを醸成し、スポーツの板橋を軸としたシティプロモーションを行うべきである。
⑪	スポーツ大使及び観光大使が区と積極的に関わりを持つきっかけを醸成すべき。(大野委員)		
⑫	シティプロモーションの展開においては、平時からの情報発信に加え、観光大使及びスポーツ大使が持つホームページやSNS等の多様な媒体を通じたPR戦略が必要である。(横川委員・おなだか委員)		

意見概要		提言の方向性	
⑬	絵本のまち板橋の展開においては、区民参画の手法を取り入れた取組を推進すべき。(大野委員)		
⑭	絵本のまち板橋のPRにおいては、個人経営書店やキッチンカーをはじめとする多くの区内事業者に協力を依頼する等、区内の隅々まで広げる努力が必要である。(しば委員・小柳委員)		
⑮	絵本のまち板橋の関連イベントの開催においては、区内事業者等の多様な主体が参画できる仕組みを取り入れ、細やかな周知を行うべきである。(小柳委員)		
⑯	絵本のまち板橋の効果的な広報戦略には、有識者懇談会や広報研究会の議論内容を公表するとともに、必要な予算措置に加え、専門家の情報や知識などに基づいた戦略的な取組を行う必要がある。(横川委員・寺田委員・おなだか委員)		
⑰	絵本のまち板橋の認知度向上には、新たな方向性を模索するとともに効果検証を行う必要がある。(近藤委員)		
		4	<p><b>【絵本のまち推進に向けた広報戦略】</b></p> <p>絵本のまち板橋の推進には、区民参画の手法を取り入れるとともに、個人経営書店との連携や流行媒体などを活用し、区内全域に浸透させる広報戦略が求められる。そのためには、多様な主体が参画できる仕組みの構築に合わせ、取組に対する効果検証を行うとともに専門家の情報や知識に基づき、新たな方向性を打ち出すべきである。</p>